



H29年度 君津圏域小児連携の会（コアラの会）活動報告

中頭賢志郎 児玉美香 金子義信 鈴木智子 高橋裕那 秋田美由紀

君津中央病院 リハビリテーション科

立ち上げ目的

君津圏域内でも、複数の小児関連施設（医療・療育・福祉）サービスを利用している発達障害児が年々増えている。それぞれの施設での治療目的や見解が統一されておらず情報交換の機会も無かったのが実情である。

そのため見解の不一致により保護者や治療者を思い悩ませることに繋がっているのではないかと考えたことから、「どのような発達障害児がどのような医療・福祉サービスを利用しているのか？」といった情報を整理・把握する必要性を感じ施設間の連携強化と、また利用者が不安に感じていることや要望などについて把握することを目的に発足した。

これまでの活動記録

① 第1回 君津圏域 小児連携の会（平成27年12月）

近隣の療育、福祉施設のPT・OT・STが中心に参加。参加者：20名 顔の見える関係づくりの始まり！

② 第2回 君津圏域 小児連携の会（平成28年3月6日）

行政、教育、医療、福祉のリハビリ関連職種が参加。参加者：25名 参加施設の施設紹介・アンケート結果の報告をし、それぞれの立場からの意見交換・情報共有を行った。

③ 第3回 小児連携の会研修会（平成28年12月16日）

講演：『摂食嚥下機能の正常発達と障害児への対応』 講師：日大松戸歯学部 教授 野本たかと先生
参加者：72名 共催：君津木更津歯科医師会

平成29年度の活動

④ 第4回 小児連携の会研修会（平成29年8月）

講演：重度重複障害児・者へのコミュニケーション支援
講師：東京都立光明学園 言語聴覚士 森岡典子先生
参加者：近隣の療育、福祉施設のPT・OT・ST 20名

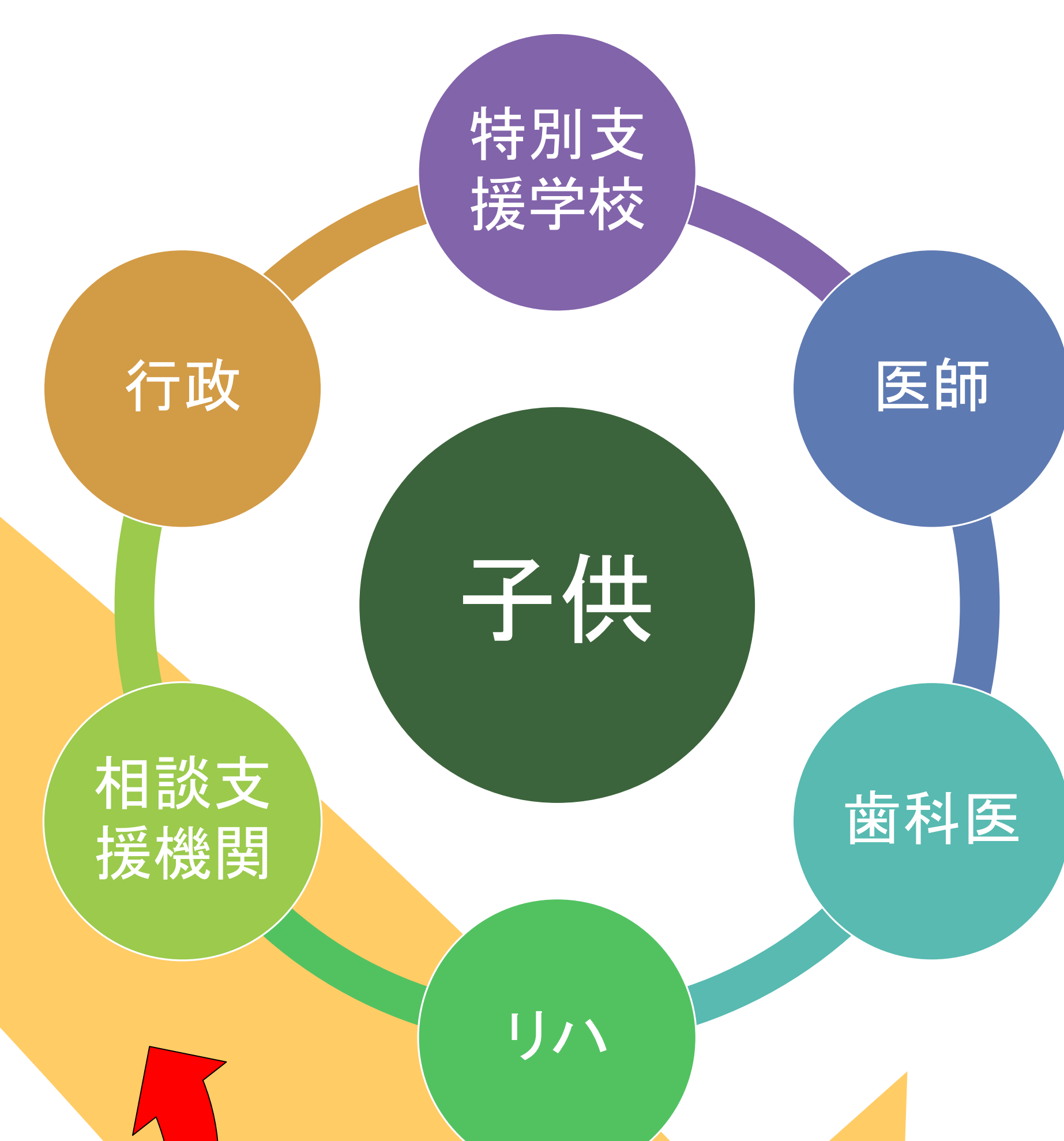
第3回コアラの会研修会
「**重度重複障害児・者へのコミュニケーション支援**」
～報告記～

東京都立光明学園 言語聴覚士 森岡典子先生 をお招きして、研修会を実施しました。VTRなどもたくさんご用意いただき、子どものリアクションをどのように積み取り、どのように関わっていくのが具体的にお願いしていただきました。

研修の後、先生が準備いっしょに積んで来てくださった、おもちゃを種類や種類ごとに説明していただきました。さらに実際に触れて楽しみながら体験することができました。森岡先生が具体的にどのように使用して、コミュニケーションのきっかけにするかを、参加者の質問を受けながらお話しいただきました。

＜アンケートから＞
・具体的な子どもの様子、変化をありのままだと教えていただけると大変になりました。特に声かけ選択時の指示から本人決意までの実際の様子を見ることができて勉強になりました。質問もたくさん、共有し、力をいただきました。
・具体的な事例について説明があり、お話を聞けることができて勉強になりました。お話を聞けるようになっていてワクワクしました。実際に結果で後手を叩くことができて、コミュニケーションにつなげる介入にしたいと思っています。
・実際の体験談、実際の話を聞く、実際に自分で使える知識がたくさんありました。

君津地域リハビリテーション広域支援センター小児連携の会「コアラの会」では今後も、地域の皆さんと繋がる関係の中で、子どもたちによりよい環境作りをしていきたいと考えています。ご意見ご感想をお寄せください。またLINEのグループの公式アカウントを作成いたしました。研修会のご案内などをさせていただきますので、ぜひご登録をお願いします。

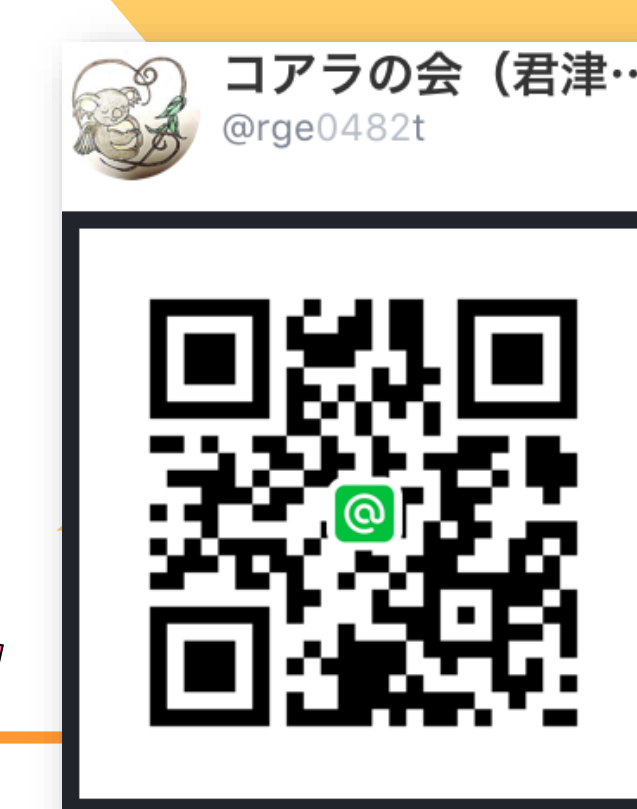


⑤ 第5回 小児連携の会研修会 予定（平成30年2月23日）

テーマ：小児ケースカンファレンス
内容：当院に通院されリハビリ（POS）介入している7歳男児。本人を取り巻く環境のスタッフと、それぞれの方針や思い、状況について意見交換を予定しております。
方法：気軽な話し合い
対象：児に関わる機関を予定しています

今後の活動

- ・顔の見える関係、相談しやすい関係の構築と仲間づくり！
- ・圏域内の共通認識、スキルアップのための研修会実施。
- ・患児、保護者の情報交換、共有方法の枠組みを多種職で作る合同カンファレンスの実施。
- ・行政・医療・福祉の関連職が課題を共有し、それぞれの役割を果たせるように連携していく。



公式LINE是非！登録してください！

君津圏域 小児連携 コアラの会
コどもたちとそこご家族に
アイと
ライフサポートを